


# 1 新中学校整備の基本方針

新中学校整備に向けて、本市の教育の基本理念「学びって楽しい！～持続可能な社会を実現する人づくり～」を実現するため、以下のとおり「基本方針が目指す学校像」及び「基本方針の具体策」を定めます。

基本方針が目指す学校像
<p>確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、 主体的に楽しく学びあうことを通して、 未来を切り拓く力を育む学校</p>

基本方針の具体策
<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する環境を整えます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一斉学習・個別学習・協働学習など生徒の多様な学びに柔軟に対応する教室や多目的スペース等を整備します。</li> <li>○調べ学習など生徒の主体的な学習活動を支援し、生徒の情報リテラシーを育成するため、最新のICT環境や利用しやすい学校図書館等を整備します。</li> <li>○将来的な学級数の変動や学習内容・形態の変化にも柔軟に対応する学校施設を整備します。</li> </ul>
<p>(2) 豊かな心と健やかな体の育成を促す環境を整えます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の学習及び生活の場として、日照・採光・通風・換気・室温等に配慮した良好な環境を確保します。</li> <li>○インクルーシブ教育の実現に向け、バリアフリー化やユニバーサルデザインを採用した、誰もが利用しやすい学校施設を整備します。</li> <li>○生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、必要な設備等を整備します。</li> <li>○集団生活に適応しづらい生徒が、学校内で安心して過ごし、必要な学習的支援を受けられる環境を整備します。</li> </ul>
<p>(3) 安全・安心で快適な学習環境を整えます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○熱中症などの健康リスクを軽減するため、教室だけでなく、屋内運動場等にも空調設備を整備します。</li> <li>○不審者の学校侵入を防止するため、防犯カメラ・車止め・非常通報装置等の防犯設備を整備します。</li> <li>○ZEB化を推進し、施設のエネルギー消費量を削減し、快適で地球環境に配慮した学校施設を実現します。</li> <li>○地震や大雨などの災害に強く、避難所としての防災機能を有する学校施設を整備します。</li> </ul>
<p>(4) 地域の教育力を活用できる地域に開かれた環境を整えます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者、地域住民等が学校運営や教育活動を円滑に支援できるよう活用しやすい学校施設を整備します。</li> <li>○学校開放事業など地域住民等が地域コミュニティ活動の拠点として利用しやすい学校施設を整備します。</li> <li>○発災時に地域の防災拠点として、地域住民等が安全かつ迅速に避難できる学校施設を整備します。</li> </ul>

## 2 導入機能・必要諸室の設定

上記、基本方針を踏まえ、新たな学校に導入する機能等を以下のとおりとし、基本方針の具体策との関連性を整理します。

### (1) 校舎等の屋内施設

#### ① 学習関係諸室

導入機能等	導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
普通教室	<p>◆現在「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」を改正し、中学校の学級編成が、令和8年度（第1学年）から令和10年度（第3学年）にかけて、段階的に35人以下となる見通しであることを踏まえ、学級編成は最大35人編成とします。</p> <p>◆各学年の通常クラス数は、令和13年度以降の供用開始を目指し、その時点で必要となるクラス数を確保することとします。 【令和13年度時点】 第1学年：4クラス（128人） 第2学年：5クラス（141人） 第3学年：5クラス（150人） 計：14クラス（419人）</p> <p>◆将来的にクラス数が減少した場合等には、多目的教室として利用するなど、柔軟な活用を検討していくこととします。</p>	(1) (2)

#### [ 現在と将来の生徒数 ]

		年度													
		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13	
		通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支
1 学年	角田中	113	8	130	8	121	5	118	7	106	7	92	2	97	4
	北角田中	56	4	43	5	42	5	36	5	44	2	49	6	31	2
2 学年	角田中	160	3	113	8	130	8	121	5	118	7	106	7	92	2
	北角田中	52	1	56	4	43	5	42	5	36	5	44	2	49	6
3 学年	角田中	147	4	160	3	113	8	130	8	121	5	118	7	106	7
	北角田中	60	2	52	1	56	4	43	5	42	5	36	5	44	2
合計		588	22	554	29	505	35	490	35	467	31	445	29	419	23
		610		583		540		525		498		474		442	

令和7年度は実績、令和8年度以降は推計値

導入機能等	導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
普通教室	<p>◆生徒の主たる学習及び生活の場となることから、内装や色彩等を工夫するなど、生徒が安心して落ち着くことができるスペースとします。</p> <p>◆採光、通風、室温等の良好な環境条件に考慮し、教室の位置や方位等に配慮します。</p> <p>◆学年単位の活動等を考慮し、同一学年が同一階となるように配慮し、学年ごとに多目的教室・教材室を隣接させます。</p> <p>◆1人1台のタブレット端末に対応した新JIS規格以上の机や大型ディスプレイ等を設置できる、ゆとりある室内スペース（1室9m×8m=72㎡）とします。</p> <p>◆万が一の浸水被害等を想定し、2階以上の配置とします。</p>	(1) (2)
多目的教室	<p>◆個別・少人数学習、グループ学習など、多様な学習活動に柔軟に対応できるスペースとします。</p> <p>◆学習内容・学習形態に応じて、室内に各種コーナーを形成するなど、分割して柔軟に活用できるスペースとします。</p> <p>◆各学年の普通教室と隣接して、学年ごとに1箇所設置します。</p> <p>◆万が一の浸水被害等を想定し、2階以上の配置とします。</p>	(1)
特別支援教室	<p>◆現時点の特別支援教室の設置状況（角田中、北角田中ともに3クラス）を踏まえ、3クラスを想定します。</p> <p>◆パーティションにより間仕切れるようにし、生徒の特性に応じ、多様な学習活動等に柔軟に活用できるスペースとします。</p> <p>◆外部からの音や視覚的な刺激が苦手な生徒に対応するため、遮音性・吸音性の高い内装とすることや調光器等を設置するなど、落ち着いて学びやすいスペースとします。</p> <p>◆普通教室やトイレ等の位置関係を考慮した配置とします。</p>	(2)
特別教室 ・理科室 ・美術室 ・音楽室 ・技術室 ・家庭科室 （調理室・被服室） ・図書室	<p>◆特別教室として、理科室、美術室、音楽室、技術室、家庭科室（調理室・被服室）、図書室を整備し、それぞれ準備室（図書室を除く。）を配置します。</p> <p>◆特別教室は、各学習活動に必要な設備・備品等を備えるものとし、収納スペースを含め、十分な面積を確保します。</p> <p>◆音楽室は、音響・防音に十分配慮した設計とするとともに、演奏会や発表会が行えるよう、多目的ホールに隣接します。</p> <p>◆理科室・技術室は、臭気が発生する作業が想定されることから、換気に十分配慮した設計とします。</p> <p>◆図書室は、校舎中央に配置し、生徒が利用しやすい動線を確保するとともに、蔵書・管理・閲覧スペースを備え、吹き抜け等の上下階を利用した解放感のある配置とします。</p>	(1) (2)

導入機能等		導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
その他の学 習関係諸 室	生徒会室	◆生徒が主体的に活動に取り組めるよう、話し合いや作業の行えるスペースとします。	(1)
	カウンセ リング室	◆スクールカウンセラーなどが、生徒や保護者などの心のケアや必要な支援等を行うためのスペースとします。 ◆保健室との連携に配慮した配置とします。	(2)
	別室登校 向け教育 相談室	◆別室登校の生徒が、落ち着いて必要な学習的支援を受けられるためのスペースとします。 ◆他の生徒の動線を気にすることのないよう、昇降口とは別の玄関等からスムーズに入室できるように配置します。	(2)
	進路指導 室	◆生徒と教師が個別に相談でき、落ち着いて時間を過ごせるスペースとします。	—
	教材室	◆教材室として授業の配布物や備品等を保管できるスペースを確保し、学年ごとに1箇所設置します。	—

## ② 屋内運動施設

導入機能等		導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
体育館		◆体育館は、体育の授業、部活動、学校開放に必要な機能（設備及び備品等）・規模を確保します。 ◆災害時の避難所としての活用を想定し、ギャラリーから、2階に配備する防災備蓄倉庫へアクセスできる動線を確保します。 ◆体育館には、体育の授業・部活動での生徒の着替えや学校開放などで地域住民が利用できる更衣室を整備します。 ◆トイレについては、一般用トイレに加えバリアフリートイレを整備します。 ◆学校開放で利用する場合は、シャッターや扉等により、校舎エリアへは侵入できないようにします。	(2)
柔剣道場		◆体育館と隣接し、柔道場及び剣道場を整備します。 ◆学校開放で利用する場合は、シャッターや扉等により、校舎エリアへは侵入できないようにします。	(2)

## ③ 管理関係諸室

導入機能等		導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
職員室・校長 室		◆職員室は、生徒の見守りを考慮し、昇降口やグラウンドの見通しの良い場所に配置します。 ◆職員室は、保健室やその他の管理関係諸室との連携に配慮した配置とします。 ◆校長室は、職員室との連携に配慮し、応接機能をもったスペースとします。	—

導入機能等	導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
保健室	<p>◆保健室は、生徒にとって利用しやすく、相談しやすいよう、稼動式パーテーションを設置するなど、生徒のプライバシーに配慮した落ち着いたスペースを確保します。</p> <p>◆カウンセリング室との連携に配慮した配置とします。</p> <p>◆病院への搬送等を考慮し、駐車場側から救急車が近接できる配置とします。</p>	(2)
その他の管理 関係諸室	◆その他の管理関係諸室として、職員用のトイレ（バリアフリースイートイレを含む）・更衣室・休憩室、印刷室、放送室、会議室、事務室（用務員室）、倉庫・書庫等を整備します。	—

## ④ 交流関係諸室

導入機能等	導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
多目的ホール	<p>◆文化祭、講習会、学年集会、部活動など、比較的広い面積を必要とする教育活動等で柔軟に活用できるスペースにします。</p> <p>◆教育活動等に応じて、パーテーションにより間仕切れるなど、分割して柔軟に活用できるスペースとします。</p> <p>◆複数のプロジェクターや大型ディスプレイ等のＩＣＴ機器の設置を検討します。</p> <p>◆地域住民との交流の場となるだけでなく、災害時は地域住民の避難所としての活用も想定し、防災倉庫を隣接させます。</p>	(1) (4)
地域活動室・ ボランティア 室	<p>◆学校運営や教育活動の円滑な支援等のため、保護者、地域住民、ボランティアが活動拠点とするスペースとします。</p> <p>◆生徒との動線を分けるため、昇降口とは別に、地域開放玄関を設置し、そこからスムーズに入室できるように配置します。</p>	(4)

## ⑤ その他・共用スペース等

導入機能等	導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
昇降口、職員 玄関、地域開 放玄関、EV、 EV ホール	<p>◆昇降口は、各室やグラウンドに移動しやすい配置とします。</p> <p>◆職員玄関は、管理関係諸室への動線に配慮した配置とします。</p> <p>◆地域開放玄関は、地域活動室・ボランティア室へスムーズに入室できる配置とします。</p> <p>◆エレベーター（EV）は、バリアフリーに対応した配置・仕様とし、エレベーターホール（EV ホール）を設置します。</p>	—
生徒用トイレ 等	◆各階に生徒用トイレ及びバリアフリースイートイレを設置します。	(2)
配膳室	<p>◆各階に給食センターから配送される給食を衛生的に配膳できるスペースを確保し、小荷物昇降機を設置します。</p> <p>◆1階には、外から配送車が乗り入れできるようにします。</p>	—



導入機能等	導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
防災備蓄倉庫	◆防災備蓄倉庫は、災害時に避難所となる多目的ホールや体育館等との位置関係に配慮した配置とするとともに、万が一の浸水被害等の可能性を考慮し、2階以上に設置します。	(3) (4)
階段・廊下等の 供用スペース等	◆階段・廊下は、明るく開放的で、生徒が使いやすい動線とするとともに、面積を広くとり、オープンスペース等として活用できるようにします。	(1)

## ⑥ 設備等

導入機能等	導入機能等の考え方	関連する 主な具体策
ICT環境	◆高速大容量で安定した通信ネットワーク環境等を構築し、校内全体で快適にICTが活用できるようにします。 ◆万が一の浸水被害等を想定し、サーバーは2階以上へ設置します。	(1)
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	◆段差解消、広い廊下、エレベーターや各階へのバリアフリートイレの設置など、校内全体でバリアフリー化を図るとともに、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた校内サイン等を導入します。	(2)
ZEB化	◆省エネ設備や太陽光発電・地中熱利用等の再生可能エネルギーの導入等により、施設のZEB化を進めます。	(3)
非常用発電設備	◆災害時の避難所としての利用が想定されることから、非常用発電設備等を設置します。 ◆万が一の浸水被害等を想定し、非常用発電装置は2階以上へ設置します。	(3) (4)
防犯設備	◆不審者等の学校侵入を防止し、生徒の安全を確保するため、防犯カメラや車止め設置するほか、万が一のための、非常用通報装置等を設置します。	(3)
衛生設備	◆生徒等の衛生的で快適な環境を確保するため、トイレの洋式化やドライ化、非接触型の手洗い設備などを導入します。	(2)
空調設備	◆熱中症などの健康リスクを軽減するため、普通教室・特別教室・屋内運動施設（体育館・柔剣道場）等においても、空調設備を導入します。	(2) (3) (4)

## (2) 屋外施設

導入機能	導入機能の考え方	関連する 主な具体策
グラウンド	◆グラウンドは、直線100m、200mトラック、サッカーコートや野球場等が配置できる規模を確保します。	(2)
テニスコート	◆テニスコートは、現在の角田中の利用状況等を踏まえ、4面を確保します。	(2)

導入機能	導入機能の考え方	関連する 主な具体策
屋外倉庫	◆体育の授業や部活動で使用する用具等を収納するため、屋外倉庫を設置します。	—
屋外トイレ	◆部活や学校開放等で屋外施設を利用する際に、利用できる屋外トイレを設置します。	(4)
駐輪場	◆生徒の自転車通学に対応するため駐輪場を設置します。	(4)
駐車場	◆保護者等による生徒の送迎、学校開放利用者用の一般用駐車場として40台以上の駐車スペースを確保します。 ◆職員・業務用駐車場として、スクールバス6台、職員用として50台以上の駐車スペースを確保します。	(4)
緑地等	◆敷地境界等には、緑地等を配置し、四季を感じることものできる樹木の植栽、花壇等を設置し、周辺環境・景観との調和等を図ります。 ◆その他、土地利用計画（配置計画）の検討とあわせ、歩道、車アクセス路、管理用道路等を確保します。	(3)

## 〔導入機能と必要諸室 一覧表〕

## ◆屋内施設

種類	No.	導入諸室・必要諸室等
1 学習関係諸室		
普通教室等	1-1	普通教室
	1-2	多目的教室
特別支援	1-3	特別支援教室
特別教室	1-4	理科室・準備室
	1-5	美術室・準備室
	1-6	音楽室・準備室
	1-7	技術室・準備室
	1-8-1	家庭科室（調理室）
	1-8-2	家庭科室（被服室）
	1-8-3	家庭科準備室
	1-9	図書室
その他学習 関係諸室	1-10	生徒会室
	1-11	カウンセリング室 （心の教室）
	1-12	別室登校向け教育相談室
	1-13	進路指導室
	1-14	教材室
2 屋内運動施設		
	2-1	体育館・器具庫・更衣室・ トイレなど
	2-2	柔剣道場

種類	No.	導入諸室・必要諸室等
3 管理関係諸室		
	3-1	職員室
	3-2	校長室
	3-3	保健室
	3-4	職員用トイレ
	3-5	職員向けバリアフリー トイレ
	3-6	職員用更衣室
	3-7	職員用休憩室
	3-8	印刷室
	3-9	放送室
	3-10	会議室
	3-11	事務室・用務員室
	3-12	倉庫・書庫
4 交流施設		
	4-1	多目的ホール
	4-2	地域活動室・ボラン ティア室
5 その他		
	5-1	昇降口
	5-2	職員玄関・地域開放玄 関・EV、EV ホール
	5-3	生徒用トイレ
	5-4	生徒向けバリアフリー トイレ
	5-5	配膳室
	5-6	防災備蓄倉庫
6 共用スペース等		
	6	共用スペース

## ◆屋外施設

No.	導入施設等
7-1	グラウンド（200mトラック、野球場、 サッカーコート等）
7-2	テニスコート
7-3	屋外倉庫
7-4	屋外トイレ

No.	導入施設等
7-5	駐輪場
7-6	駐車場
7-7	緑地、歩道、車アクセス路、管理用 道路等

黄色部分：学校開放を予定



### 3 施設規模の設定

上記「4 導入機能・必要諸室の設定」を踏まえ、各自治体の整備事例等を参考に、各諸室等の施設規模を以下のとおりとします。

諸室等の規模は、原則、コマ数を基に設定することとし、1コマの規模は、当該事例等を参考に72㎡（8m×9m）とします。

#### （1）屋内施設

	No.	導入諸室・必要諸室	コマ数※	単位面積(m <sup>2</sup> )	室数	面積(m <sup>2</sup> )	規模設定の考え方
			①	②	③	①*②*③	
学習関係諸室	普通教室						
	1-1	普通教室	1	72	14	1,008	◆上記 2 (1) ①、普通教室の導入機能等の考え方を踏まえ、普通教室として 14 室、1 室当たり 1 コマを想定
	1-2	多目的教室	1	72	3	216	◆各学年 1 室、計 3 室、1 室当たり 1 コマを想定
	特別支援						
	1-3	特別支援教室	1	72	3	216	◆上記 2 (1) ①、特別支援学級の導入機能等の考え方を踏まえ、特別支援教室として各学年 1 室、計 3 室、1 室当たり 1 コマを想定
	特別教室						
	1-4	理科室・準備室	2	72	2	288	◆理科室として 2 室設置 ◆1 室は、理科室として 1.75 コマ、準備室として 0.25 コマを想定
	1-5	美術室・準備室	2.5	72	1	180	◆美術室として 1 室設置 ◆美術室として 2 コマ、準備室として 0.5 コマを想定
	1-6	音楽室・準備室	3	72	1	216	◆音楽室として 1 室設置 ◆音楽室として 2.5 コマ、準備室として 0.5 コマを想定
	1-7	技術室・準備室	2.5	72	1	180	◆技術室は、1 室設置 ◆技術室として 2 コマ、準備室として 0.5 コマを想定
	1-8-1	家庭科室（調理室）	1.5	72	1	108	◆調理室として 1 室、1.5 コマを想定
	1-8-2	家庭科室（被服室）	1.5	72	1	108	◆被服室として 1 室、1.5 コマを想定
	1-8-3	家庭科準備室	0.5	72	1	36	◆調理・被服室兼用の家庭科準備室として 0.5 コマを想定
	1-9	図書室	3.25	72	1	234	◆図書室として 1 室設置 ◆蔵書スペースとして 1.75 コマ、閲覧スペースとして 1 コマ、管理スペースとして 0.5 コマを想定
	その他学習関係諸室						
	1-10	生徒会室	0.5	72	1	36	◆生徒会室として 1 室、0.5 コマを想定
	1-11	カウンセリング室（心の教室）	0.5	72	1	36	◆カウンセリング室として 1 室、0.5 コマを想定

	No.	導入諸室・必要諸室	コマ数※	単位面積(m <sup>2</sup> )	室数	面積(m <sup>2</sup> )	規模設定の考え方
			①	②	③	①*②*③	
学習関係諸室	1-12	別室登校向け教育相談室	0.5	72	3	108	◆別室登校向けの教育相談室として3室、1室あたり0.5コマを想定
	1-13	進路指導室	0.5	72	1	36	◆進路指導室として1室、0.5コマを想定
	1-14	教材室	0.25	72	3	54	◆教材室として各学年1室、1室あたり0.25コマを想定
屋内運動施設	2-1	体育館・器具庫・更衣室・トイレなど	—	1,797	1	1,797	◆①アリーナ：1,287.000 m <sup>2</sup> (39.6m×32.5m) ◆②ステージ：175.5 m <sup>2</sup> (5.4m×32.5m) ◆③更衣室：99 m <sup>2</sup> (11m×9m) ◆④トイレ（バリアフリートイレ含む）：58.5 m <sup>2</sup> (9m×6.5m) ◆⑤器具庫：39 m <sup>2</sup> (6m×6.5m) ◆⑥通路：137.25 m <sup>2</sup> ◆計（①+②+③+④+⑤+⑥）＝1,796.25 m <sup>2</sup> ≒1,797 m <sup>2</sup>
	2-2	柔剣道場	—	518	1	518	◆①柔道場：225 m <sup>2</sup> (15m×15m) ◆②剣道場：225 m <sup>2</sup> (15m×15m) ◆③通路・器具庫：67.5 m <sup>2</sup> ◆計（①+②+③）＝517.5 m <sup>2</sup> ≒518 m <sup>2</sup>
管理関係諸室	3-1	職員室	2.5	72	1	180	◆職員室として1室、2.5コマを想定
	3-2	校長室	1	72	1	72	◆校長室として1室、1コマを想定
	3-3	保健室	1	72	1	72	◆保健室として1室、1コマを想定
	3-4	職員用トイレ	0.5	72	1	36	◆職員用トイレとして1カ所、男女各0.25コマを想定
	3-5	職員向けバリアフリートイレ	0.1	72	1	7.2	◆職員向けバリアフリートイレを1カ所、0.1コマを想定
	3-6	職員用更衣室	1	72	1	72	◆職員用更衣室として1室、1コマを想定
	3-7	職員用休憩室	0.5	72	1	36	◆職員用休憩室として1室、0.5コマを想定
	3-8	印刷室	0.3	72	1	21.6	◆印刷室として1室、0.3コマを想定
	3-9	放送室	0.3	72	1	21.6	◆放送室として1室、0.3コマを想定
	3-10	会議室	1.5	72	1	108	◆会議室として1室、1.5コマを想定
	3-11	事務室・用務員室	0.5	72	1	36	◆事務室・用務員室として1室、0.5コマを想定
	3-12	倉庫	0.5	72	1	36	◆倉庫として1箇所、0.5コマを想定
交流施設	4-1	多目的ホール	3	72	1	216	◆多目的ホールとして1箇所、3コマを想定
	4-2	地域活動室・ボランティア室	1	72	1	72	◆地域活動・ボランティア室として1室、1コマを想定

	No.	導入諸室・必要諸室	コマ数※	単位面積(m <sup>2</sup> )	室数	面積(m <sup>2</sup> )	規模設定の考え方
			①	②	③	①*②*③	
その他	5-1	昇降口	2	72	1	144	◆昇降口として1カ所、2コマを想定
	5-2	職員玄関・地域開放玄関・EV・EVホール	1	72	1	72	◆職員玄関・地域開放玄関・エレベーター(EV)・エレベーターホール(EVホール)として1カ所、1コマを想定
	5-3	生徒用トイレ	0.9	72	4	259.2	◆生徒用トイレとして2・3階各2カ所、計4カ所、1カ所0.5コマを想定
			0.3	72	1	21.6	◆生徒用トイレとして1階1カ所0.3コマを想定
	5-4	生徒向けバリアフリートイレ	0.1	72	5	36	◆生徒用バリアフリートイレとして1階1カ所、2・3階各2カ所、計5カ所、1カ所当たり0.1コマを想定
	5-5	配膳室	0.5	72	3	108	◆配膳室として、各階1カ所、計3カ所、1カ所当たり0.5コマを想定
	5-6	防災備蓄倉庫	0.3	72	1	21.6	◆防災備蓄倉庫として1カ所0.3コマを想定
小計		校舎				4,709	
		屋内運動場				2,315	※柔剣道場等を含む。
共用スペース	6	共用スペースを25%で想定した場合				1,570	ゆとりある廊下・階段等の設置も想定し、校舎の全体面積の25～35%を想定
		共用スペースを30%で想定した場合				2,018	
		共用スペースを35%で想定した場合				2,536	
合計		共用スペースを25%で想定した場合				8,594	
		共用スペースを30%で想定した場合				9,042	
		共用スペースを35%で想定した場合				9,560	
屋内施設面積：8,600㎡から9,600㎡							

## (2) 屋外施設

No.	施設名等	面積	規模設定の考え方
7-1	グラウンド (200mトラック、野球場、サッカーコート等)	16,225 m <sup>2</sup> 以上	◆直線100m確保、200mトラックを確保 ◆サッカーコート1面(コート：105m×68m、コート周り5m程度のスペースを含め9,000 m <sup>2</sup> 程度)を想定 ◆野球場1面(両翼70m程度：バックネット等のスペースを含め85m角、7,225 m <sup>2</sup> 程度)を想定
7-2	テニスコート	3,100 m <sup>2</sup> 程度	◆4面(2面：39.8m×38.9m=1,550 m <sup>2</sup> )
7-3	屋外倉庫	95 m <sup>2</sup>	◆屋外倉庫として1カ所
7-4	屋外トイレ	32 m <sup>2</sup>	◆屋外倉庫として1カ所
7-5	駐輪場	250 m <sup>2</sup>	◆既存の角田中の駐輪場を参考に250 m <sup>2</sup> 程度を想定
7-6	駐車場	土地利用計画(配置計画)で検討	◆一般用駐車場として40台以上、1台25 m <sup>2</sup> を想定 ◆職員用駐車場として50台以上、1台25 m <sup>2</sup> を想定 ◆業務用駐車場として、スクールバス6台、1台28 m <sup>2</sup> を想定
7-7	緑地、歩道、車アクセス路、管理用道路等	土地利用計画(配置計画)で検討	◆敷地境界への2m程度の緑地等を配置 ◆駐車場・建物等の配置を踏まえ、緑地、歩道・車アクセス路、管理用道路等を適宜配置